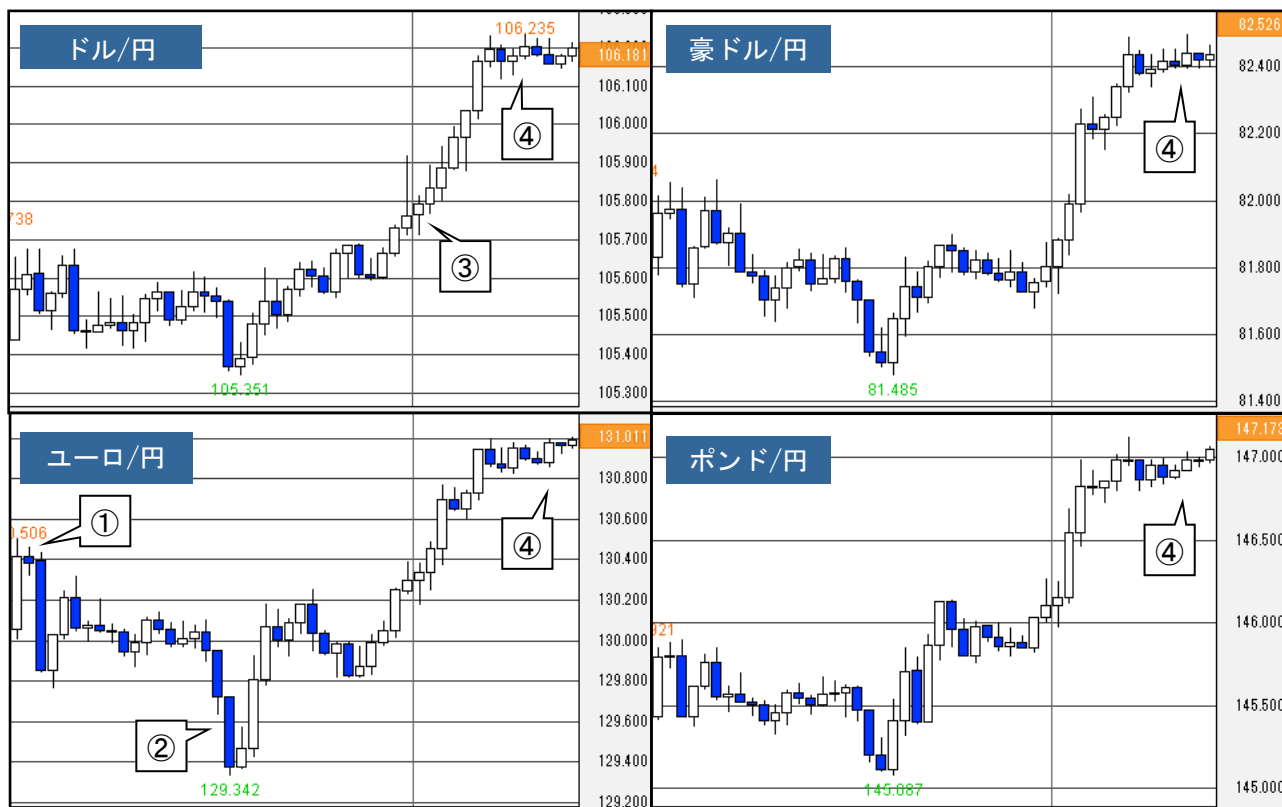


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

3月6日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、戻りの関門多し

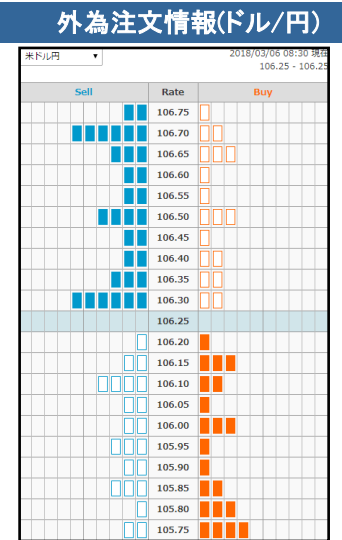
5日(月)の為替相場



期間：5日(月)午前7時00分～6日(火)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 独社会民主党(SPD)の党员投票でキリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)との連立が承認された事が4日に判明。これを受けてメルケル首相の4期目続投が決定的となり、ユーロはオープン直後から買いが優勢となった。ただ、イタリアで4日に行われた総選挙への不安は拭えずユーロの上昇は続かなかった。
- ② イタリア総選挙の開票が進み、どの政党も過半数(316議席)に届かない「ハングパーラメント」が濃厚となった。また、反体制派政党「五つ星運動」が単一政党として最大の得票率(31%)を獲得する見込みとなった事などが不安視されて、ユーロ/円は2017年8月以来の安値となる129.342円まで下落した。
- ③ 米2月ISM非製造業景況指数は59.5となり、2005年以来の高水準となった前回(59.9)から僅かに低下したが、市場予想(59.0)を上回った。
- ④ NYダウ平均が350ドル近く上昇するなど、米国株が引けにかけて上げ幅を拡大する中、円が全面的に下落。ドル/円が106.20円台まで上昇したほか、クロス円も軒並み上昇した。なお、米与党・共和党のライアン下院議長が「我々は貿易戦争の影響について非常に懸念しており、この計画(鉄鋼・アルミの輸入制限)を進めないようホワイトハウスに強く求めている」などとする声明を発表した事で貿易摩擦への懸念が和らいだ模様。

5日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21042.09 ▼139.55	5895.032 ▼33.864	3256.926 △2.398	7115.98 △46.08	12090.87 △177.16
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24874.76 △336.70	0.0430% ▼0.0250	2.744% △0.010	1.495% △0.021	0.643% ▼0.008
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.2378% ▼0.0041	2.8808% △0.0165	62.57 △1.32	1319.90 ▼3.50	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	105.500-106.900	130.500-131.900	82.300-83.300	146.500-148.000

【ドル/円】

昨日のドル/円は105円台前半で下げ渋るとNY市場では106円台を回復して反発した。米議会がトランプ政権に鉄鋼・アルミへの輸入制限措置を控えるよう進言した事などから貿易戦争への懸念が緩和。一時106.20円台まで上昇した。

ドル/円は105円割れをひとまず回避した事で戻りを試す展開が見込まれるが、トレンドが依然として下向きなだけに越えなければならないハードルは多い。第1関門として、まずは日足一目均衡表転換線(106.511円)、次に節目の107.00円、すぐ上に20日移動平均線(執筆時107.166円)といった具合で、最終的にはミニダブルボトムへの完成に向けたネックライン107.901円(2月21日高値)が目標となる。

材料面では、黒田日銀総裁の所信聴取(参院)に注目したい。2日の衆院での聴取では「2019年ごろに物価目標達成なら出口を検討」と発言した事が円買いの手掛りとなった。日銀としては物価目標達成のためにも円高定着は避けたいはずであり、総裁が「出口観測」の火消しに動くか注目される。

本日および明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 執筆者: 神田

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
3/6(火)	12:30	◎	(豪) RBAキャシュターゲット	+1.50%	+1.50%
	13:00	◎	(日) 黒田日銀総裁、参院で所信聴取	—	—
	21:30		(米) ダドリーNY連銀総裁、講演	—	—
	24:00		(米) 1月製造業受注指数(前月比)	+1.7%	-1.4%
	27:15		(英) ホールデンMPC委員、講演	—	—
	30:35	○	(豪) ロウRBA総裁、講演	—	—
3/7(水)	09:30	◎	(豪) 10-12月期GDP(前期比)	+0.6%	+0.5%
	09:30	◎	(豪) 10-12月期GDP(前年比)	+2.8%	+2.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。